

# 研究発表②

1 日 目

(第2会場：4F視聴覚室)

■司会 山根 義治 沖縄県立玉城少年自然の家 所長  
福井 京子 佐賀市女性の会 副会長

午後

## 1. 無料託児「地域のおばあちゃん」事業

— 木花婦人会の地域貢献と子育て支援 —

13:30~13:55

茜ヶ久保真由美〈宮崎県〉 木花婦人会 副会長

「地域のおばあちゃん事業」は婦人会の地域貢献プログラムである。内容は子育て支援のための無料託児。公民館を拠点に、子育てに奮闘する母親の「リフレッシュ支援」が目的である。託児の理由は問わない。そこがポイントである。最近では出前託児も行うようになった。事業の意義を行政が認識し補助金もできるようになった。地域婦人会による世代間交流の実践でもある。

## 2. 図書館のないまちの本に出会うためのお話し会

— 子どもと本・高齢者と本を繋ぐ“おはなしきびだんご”の活動 —

13:55~14:20

足利 結佳〈大分県〉本と出会う会やまんば 代表 會川 裕子〈大分県〉おにっ子クラブ 代表

平成9年度のスタート。本と出会う会“やまんば”と“鬼っ子クラブ”の共催。子ども達と本を繋ぐ舞台として、毎週定例の「読み聞かせ」、年2回の「お話し会」を開催している。図書館のない町で本と出会う楽しさ、喜びを伝えることが目的である。ボランティア活動を支え、子ども文化の運動を支える活動の拠点は公民館である。

～ティータイム～

14:20~14:55

## 3. 子育て情報誌の創造とボランティア・ネットワークの拡大

— うさ子育てネットワーク協議会の実践 —

田所 陽子・宇都宮玲子〈大分県〉 うさ子育てネットワーク協議会 情報誌編集委員 14:55~15:20

うさ子育てネットワーク協議会は平成12年度の発足である。ボランティアの母親による活動が協議会の基礎を形成した。インターネット及びメールが情報交流の中心になりつつある現在、あえて手渡しの「情報誌」にこだわっている。目的はできるだけ多くの人に生の子育て情報を流すことである。人々の関心が向上し、着実に情報掲載依頼が増加してきている。

## 4. 「放課後児童健全育成事業」への父母の挑戦

— 甘木市学童保育わんぱくクラブの15年 —

池田 洋子〈福岡県〉 学童保育わんぱくクラブ 指導員 15:20~15:45

「放課後児童育成事業」が学童保育の法律上の名称である。わんぱくクラブは1986年のスタートである。父母会による手作りの出発であった。学童保育が共稼ぎや育児だけに専念できない保護者を支えたことはもちろんであるが、最大の成果は「仲間の中でかわる子どもたち」を確認したことであった。学童保育は生活体験の場であり、集団体験の場であり、保護者の協力の場である。学校週5日制が実現した現在、その必要性和意義はますます高まっている。

## 5. 総括討論

15:45~16:15